

農業者起点の新たなコメ現物市場の創設

－CO₂、肥料、農薬等を削減する「グリーンイノベーション」ファームिंगの実現－

2023/08

株式会社ぶった農産
代表取締役社長 佛田 利弘



問題意識

コメ生産者の努力が認められているか
消費のニーズに応えているか、需要を創造出来ているか

- 1 消費者ニーズ** 実際には、コメに対する消費者のニーズは存在し得るのか
コメをコモディティなものとして捉えていないか
食管法制度から脱却できているか
食料法は、市場経済のメカニズムを導入し売れるコメを需要に合わせて生産
- 2 需要と供給※1** 経済学的視点からだけの需給モデルでよいのか
資源制約条件や地政学的条件に加えて、農業経営体の生産条件が制約要因が拡大
資材高騰 雇用コスト増大 価格低迷 生産調整強化 とコメ生産が厳しい状態
価格形成のためには、播種前契約、特別栽培や有機栽培などで付加価値を高める
- 3 生産者の努力** 集落機能の維持や地域対策への取組、不採算な農地の耕作管理などの社会貢献
先行した環境対策への模索 GAPなどのコンプライアンスやガバナンスの向上
- 4 技術と経営** イノベーションを取り入れるMOT※2 マネジメントを実践し農業経営の価値創造
価値創造は、コメという商品だけではなく生産者の技術経営モデルも対象
グリーンテック導入の評価
- 5 バリューチェーン** 需要創造をビジネスモデルとして実現する必要あり

※1 需要と供給（微視経済学における、財の価格決定に関する経済モデル）：wikipediaから引用

需要（じゅよう）とは、財に対する購買力の裏づけのある欲。消費者側の「買いたい」という意欲。価格と需要量の関係を図示したのが需要曲線で、一般に右下がりの曲線である。これは価格が上がるほど需要量が減少することによる。これに対し、同じ価格に対応する需要量が増大して需要曲線そのものが右方に移動する（シフト）ことは、需要（需要量 ではない）の増大といわれる。「人々が物の価格が下がれば、その物の需要を増やす」という命題のことを需要法則という。

供給（きょうきゅう）とは、財（物品）やサービスを提供しようとする経済活動。生産者側の「売りたい」という意欲。価格と供給量の関係を図示したのが供給曲線で、一般に右上がりの曲線である。これは価格が上がるほど供給量が増大することによる。これに対し、同じ価格に対応する供給量が増大して供給曲線そのものが右方に移動することは、供給（供給量 ではない）の増大といわれる。

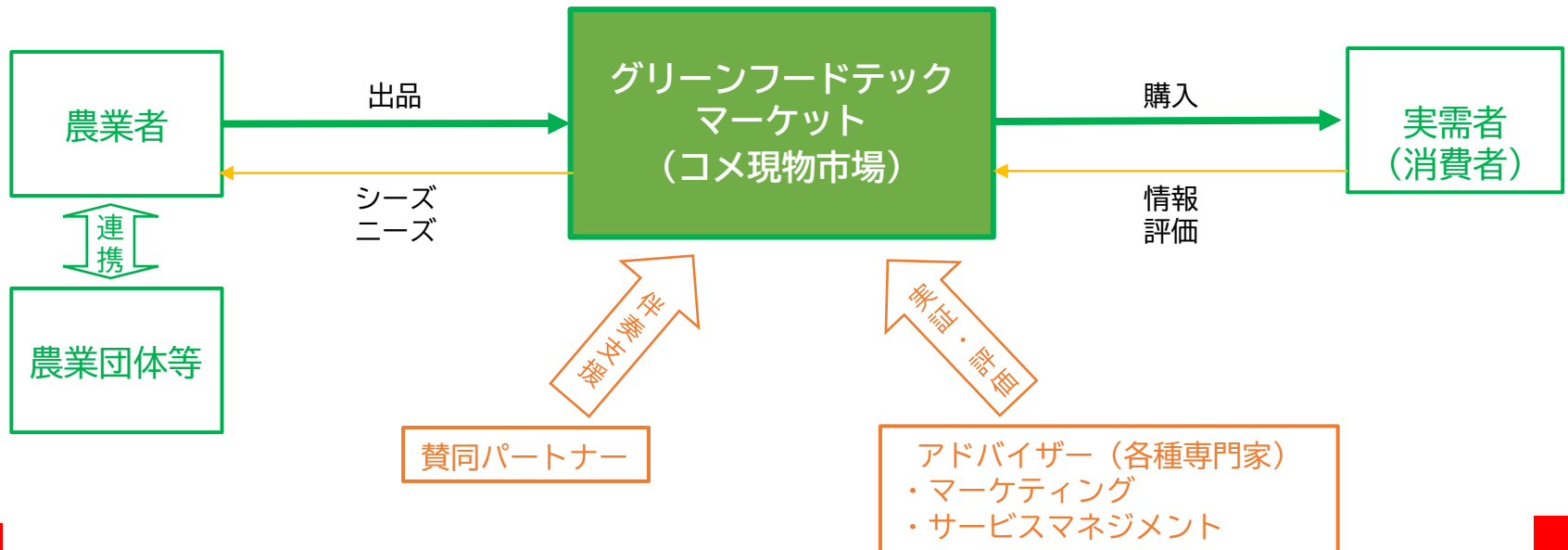
※2 MOT:Management of Technolog 経済産業省資料より

MOTとは、技術を事業の核とする企業・組織が次世代の事業を継続的に創出し、持続的発展を行うための創造的、かつ政策的なイノベーションのマネジメント。



コメ現物市場の創設

- 1 設立の理念 農業者起点による『価格形成力を創造するコメ現物市場の創設』
ー コメ生産における環境配慮・地域維持・供給責任・安全生産等の価値化に向けてー
- 2 キーワード 農業者の取組の正当な評価 再生産可能な価格形成 新たな市場の創造へ
価格競争から価値の共創へ 食料の自給と安全保障 未来の食と農を育む
- 3 実施主体 株式会社ぶった農産グループ会社（石川県野々市市）
（共同事業参加者 株式会社農業生産法人田仲農場 ほか）
- 4 コメ現物市場 グリーン フードテック マーケット
（GAP、有機栽培等のグリーンな取組を、穀粒判別等のフードテックで定量化し評価）
- 5 仕組み





コメ現物市場での取引①

Butta

- 1 取引の場
コメ現物市場はバーチャル上に存在
・ 全国の共同事業参加者（農業者が基本）が取引拠点（当面、北陸、関東、東北）
・ 共通のルールの下で運用
- 2 出品者
農業者、農協、産地集荷業者 等とその格付け
・ 評価に応じて格付け 例えば 5つ星のうち「4.1」 等
- 3 買参者
外食、給食、スーパー、ネットビジネス 等とその格付け
・ 取引状況等に応じて格付け 例えば 5つ星のうち「3.8」 等
- 4 出品商品
玄米、精米（将来的には粳（乾燥粳、生粳））
・ 単年取引 単取引
複数取引（1度の出品で複数回の取引）
例えば 今回 ○トン、 来月 △トン、 再来月 ×トン
・ 複数年取引 複数取引／年 例えば 3年分の取引を出品
1年目 5回複数取引 2年目 5回複数取引 3年目 5回複数取引
- 5 取引ロット
出品者・買参者の都合に合ったロット
・ 玄米 10トン、4トン、1トン、20kg
・ 中米玄米（1.7mm以上）
・ 精米 1トン、20kg、10kg、9kg、5kg、4.5kg
・ 中米精米
- 6 評価
GAP、肥料削減、ホワイット経営等の農業者の取組や、コメの品質データ等を評価
・ カテゴリー1 GAP（第三者監査等）、栽培（プレハーベスト）データ・乾燥調整（ポストハーベスト）データの各デジタル情報
・ カテゴリー2 特別栽培米、有機栽培米、循環型生産（畜産有機物利用や藁の提供）地域や他の農業者との調和、生物多様性栽培、持続的生産への配慮、環境対策（プラスチック肥料使用の有無等）、ホワイット経営
・ カテゴリー3 品質（穀粒判別データ、カメムシ・割れ・水分 等）
・ カテゴリー4 穀物検査等級（機械検査）



- 7 取引方法 Googleフォームに出品情報を登録
 - ・商品情報シートを会員に提供
- 8 品質保証 誤った情報の登録等、規約に抵触する場合は違約金
 - ・取引状況に応じて「格付け」を見直し
- 9 決済 出品時に決済ルール・条件提示 → 当事者同士で決済
 - ・農業者の取組、コメの品質データの「評価」を重視
(代金回収サービス、輸送サービスなし)
- 10 会員登録 出品者、買参者等の関与の度合いに応じて登録
 - ・正会員 取引参加、個々の出品情報等の情報閲覧
 - ・準会員 個々の出品情報等の情報閲覧
 - ・一般者 代表的な出品情報等の情報閲覧 (コメに関心のある一般家庭も歓迎)
 - (・幹事会員 制度の改善、入会審査、運営チェック、紛争処理)
- 11 アピールポイント 生産者と実需者・消費者とのコミュニケーション
 - ・生産起点の価格形成機能
 - ・実需者等への情報提供の場
 - ・消費者への消費の楽しさ・豊かさ・驚きを伝える場、食を楽しむ場、食を考える場
 - ・食育、食料生産のしくみが見える化、地域農業や食料自給・安全保障を考える機会



現物市場開設に向けて(予定)

9月を目途に開設の準備中

新会社設立の予定

当初は試験的運用 一年間かけて仕組みを充実する予定

手数料は、取引内容により可変

売り手には、品質安定や価格形成、優れた買い手と繋がるための支援

買い手には、優れた売り手と繋がるための支援

会員の募集は9月以降